

事務事業シート(事業仕分け)

担当部・課	企画部政策推進課
シート作成担当者 係・氏名	政策推進係
連絡先電話番号	

整理番号	26	3	20
------	----	---	----

事業名	中山間地域交流促進事業		事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	—
総合計画の位置づけ	大綱	1. 都市基盤が充実し、ひとやもの、情報が活発に交流するまち				
	施策の柱	1-1 全国・世界へ広がる物流・交流拠点の形成				
	重点的取組	■ 重点的取組・重点プロジェクト				
	取組名	1-1 都市と農山村との交流の促進				
根拠法令等	区分名	事業区分 ■ 事務事業				

目的	1 対象(何を、誰を、どの地域を)	対象	対象の範囲		単位
	■ 地域 市内には、富士山静岡空港の開港をはじめとして新東名高速道路島田金谷インターチェンジの開通等、国内有数の高速交通基盤が整備されてきており、とりわけ新東名高速道路島田金谷インターチェンジの開通により、ヒト・モノの流れが変化することが期待できる大井川流域		① 大井川流域(主に川根地区)	—	
			② —	—	
		③ —	—		
2 意図(どのような状態にしたいか)	事業の成果	成果を表す指標		単位	
この地域が秘めている優位性やオリジナリティを見つけ、他の地域にはない価値を追求し、大井川流域における交流人口の拡大を図る。		① 交流人口数	人		
		② —	—		
	③ —	—			
内容	3 手段(目的を実現するために、市が具体的に行っていること)	事業の実績	実績を表す指標		単位
	・フォトロゲイニングNIPPON島田大会の開催 ・高速道路サービスエリアを活用したイベントの開催及び地域情報の発信 ・地域活性化情報誌の発行 ON-Driveパートナーシップ推進事業 ・東名高速道路海老名サービスエリア川根地区PRイベント 東名高速道路海老名サービスエリアにおいて、川根地区PRイベント開催。 ・N-DriveによるPR NEXCO中日本発行のN-Drive第4号「富士山ぐるり」にフォトロゲイニングNIPPON島田大会及び国際陶芸フェスティバルを掲載。 ・フォトロゲイニングNIPPON島田大会開催 ・新東名高速道路SA・PAにおいて、地域情報誌「いいね！かわね」のパンフレットを配架・配布。 ○地域活性化情報誌等作成業務委託 ・地域情報誌「いいね！かわね」を製作 部数:25,000部		① 交流人口数	人	
			② イベントへの参加者数	人	
		③ パンフレット配布数(地域の魅力を伝える)	部		

背景(必要性)	事業の開始時期における社会的背景や事業の必要性	富士山静岡空港の開港をはじめとして新東名高速道路島田金谷インターチェンジの開通等、国内有数の高速交通基盤が整備されてきており、とりわけ新東名高速道路島田金谷インターチェンジの開通により、大井川流域におけるヒト・モノの流れが変化することが期待できる。今後の人口減少や基幹集落の維持の面からみても、このようなタイミングを捉え、今から継続的に事業を進める必要がある。
	上記の状況はどのように変化しているか	・川根地区人口・・・H21.3:5,928人、H22.3:5,831人、H23.3:5,729人、H24.3:5,636人、H25.5:5,499人 4年間で7.2%減 ・川根温泉による来館者車両ナンバー調査によると、これまで全体の3~4%だった県外ナンバーが10%を超えるまでになり、県内でも西部、伊豆からの来館も上昇傾向にある。県外ナンバーでも愛知県、神奈川県の隣接した車両ナンバーが多く、特に、名古屋・豊橋・豊田・三河・尾張小牧・横浜・湘南が多くなっている。 ・島田市事業:平成26年7月 川根温泉ホテルの開業 ・民間の取り組み:平成25年8月 農林家民宿の開業(2件)

効果・成果の説明	・東名高速道路海老名サービスエリア川根地区PRイベント 来場者:約3,000名 アンケート回収:576枚 ・N-DriveによるPR NEXCO中日本発行のN-Drive第4号「富士山ぐるり」への掲載 部数:約10万部 ・フォトロゲイニングNIPPON島田大会開催 申し込み者:631人 参加者:580名 ※平成25年度フォトロゲイニングNIPPONシリーズの中で最多参加者数 ・地域情報誌「いいね！かわね」を製作、配布 部数:25,000部 うち、16,000部は、新東名高速道路サービスエリア等のコンシェルジュカウンターにて配布。 ・地域住民やNPOとの連携による事業実施 連携事業:フォトロゲイニングNIPPON、東名高速道路海老名サービスエリア川根地区イベント、地域活性化情報誌編集 <フォトロゲイニングNIPPON参加者のコメント抜粋> ・桜の季節に行ってみたいですし 地元でも知らない所が多く楽しかった ・この地区に初めて来るきっかけができてよかったです ・町ぐるみでのイベント開催にすごく感動しました ・大人になって久しぶりに訪れて、SLの存在は地域活性の軸になっていると感じました ・自然豊かでトトロの世界みたいでした(雨&駅舎の雰囲気)
----------	---

過去の 見直し内容	平成26年度において、地域活性化情報誌は作成しない。 平成27年度の発行は、別途検討する。
廃止した場合の 影響	交流人口の減少に加え、地域活性化にとってマイナスの影響が懸念される。
民間委託・民営化 の 受け皿	■ なし → 市が直営で実施しなければならない理由 地域全体の交流人口増加を目指した、地域住民やNPOなどとの連携事業であるため。
国・県・他市町、民間等での類似事業	当該地域における高速道路事業者と連携した事業なし
市における 類似事業	当該地域における高速道路事業者と連携した事業なし
課題・今後の 方向性等	今後、新東名高速道路は、愛知県区間との開業が予定されている。愛知県からの来訪者獲得を意識しながら、地域住民と連携する中で、さまざまな事業内容を検討し、継続的に事業を進めていくことが必要である。 事業内容がマンネリ化しないように、精査しながら進めていく。

対象	対象の範囲 実績・成果の指標	基準値 目標値	H23(実績)		H24(実績)		H25(実績)		H26(目標)	
			実績値	達成率等	実績値	達成率等	実績値	達成率等	目標値	達成率等
① ② ③	大井川流域(主に川根地区)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
事業の 実績	① 交流人口数	500	—	—	—	—	580	116%	600	120%
	② イベントへの参加者数	2,000	—	—	—	—	3,000	150%	3,000	150%
	③ パンフレット配布数(地域の魅力を伝える)	25,000	—	—	—	—	25,000	100%	—	—
事業の 成果	① 交流人口数	500	—	—	—	—	580	0%	600	120%
	② —	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	③ —	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位:円)

事業費の内訳	内 容	金 額	積 算 等	
平成25年度 決算見込み	N-Driveパートナーシップ推進事業	2,152,727	事業委託費及びサービスエリアPRイベント経費	
	地域活性化情報誌等作成業務	2,635,500	情報誌作成経費	
合計		4,788,227		

(金額の単位:千円、但し市民一人当たり負担額の単位は円)

事業費	直接 事業費	財源 内訳	H23(決算)			H24(決算)			H25(決算見込)			H26(予算)		
			正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時
	財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	1,000	1,000	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0	0	3,789	3,789	0	0	0	0
		財源計(a)	0	0	0	0	0	0	4,789	4,789	0	0	0	0
	人件 費	職員	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時
		人工(b)	0	0	0	0	0	0	0.3	0	0	0.3	0	0
		1人当たり人件費(c)	7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741
		人件費(d=b×c)	0			0			2,174			2,174		
事業費合計(e=a+d)		0			0			6,963			5,174			
	市民一人当たり負担額(f=(e)/10万人)	0			0			70			52			